



## “Think globally, act locally “ 心も環境もきれいなまちへ！

校長 松本 雅史

つばめが元気に空を舞っています。ふと気付くと、紫陽花の季節になっていました。

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

ところで、5月17日(日)に昨年より3日早く東京は真夏日を観測しました。昨年 2025 年の夏は 1898 年に記録をとり始めて以来最も暑かったのだそうです。6月から8月にかけて40度以上の日は9日、群馬県伊勢崎市では過去最高となる41.8度を記録しました。その去年より、今年は暑くなるペースが速いということになるのでしょうか。

「茹でガエル」という言葉をご存じでしょうか。カエルを突然熱い湯に入れると飛び出して逃げて助かりますが、水に入れた状態からゆっくり熱すると、まだ大丈夫だろうと思っているうちに、逃げ遅れてしまい、助からないということです。実際に実験すると、そういうことはないそうですが、私たちこそ正に“ユデガエル”になりかけているような気がしてなりません。それは単に気温が高くなっているということだけではありません。「5月に真夏日」と聞いてもう驚かなくなっている、私たちの危機に対する感覚のマヒです。異常な状況にその都度対応することは意識しても、危機の原因そのものへの考察と改善の行動には無関心という空気を感じてしまいます。しかし、私たちの豊かな暮らしと世界の危機は、実は密接につながっているといえます。危機に無関心でいられても、無関係でいられる人は一人もいません。今こそ、世界の危機を深く知って、自分のできる足元から行動する学びをすすめなければいけないと感じています。

さて、6月は「こだいら特別活動の日」があります。昨年度は、「自分も人も大切にできる居心地のよい学級、学校、まちをみんなで作っていこう！」というねらいで、中学校区ごとに「まちづくり宣言」を策定しました。私たちの花小金井南中学校区のまちづくり宣言は、

### 「笑顔とあいさつでみんなをつなぐ！～心も環境もきれいなまち～」

です。このまちづくり宣言を受けて、昨年度、八小では代表委員会にCSの方を招き、挨拶について協議したり、ポスターや動画で挨拶を呼びかけ挨拶運動を推進したりと様々な取組をすすめました。挨拶の大切さは、PTAも重視してくださり、昨年度末には「挨拶ですすめる安心・安全のまちづくり：防犯講座」を開催してくださいました。

本年度は、このまちづくり宣言をさらに全校で意識して、～心も環境もきれいなまち～の実現に力を尽くしてまいりたいと思います。キーワードは「笑顔」と「あいさつ」、そして「つながる」です。

学級で、学年で、学校全体で、そして地域へ！もちろんご家庭でも！笑顔の輪が広がって、その笑顔の輪が世界を包んで「心も環境もきれいな地球」になっていきますようにと、切に願います。

### 6月の生活目標 「友達や先生の話をしっかり聞こう」

「しっかり話を聞く」とは、相手の話をさえぎらずに聞くこと、そして相手がどんな気持ちでいるのかを想像しながら聞くことです。最後まで丁寧に話を聞いてもらえると、誰でも嬉しくなり、安心します。自分の考えを表現したり伝えたりすることはとても大切な力です。さらに、友達の意見を「なるほど」「いい考えだね」「そんな考えもあるのか」と受け止めながら聞くのは、自分の世界を広げ、考えを深めることにつながります。大人も子供も笑顔があふれる会話を増やしていきたいです。

生活指導主任